

世界地図で見る 海外でのエコへの取り組み

海外諸国では、環境に配慮した商品を選んだり、ゴミをしっかりと分別するなどの行動が「当たり前のこと」として続けられています。海外で行われている取り組みを知り、エコをもっと身近なものとして考えるきっかけにしてみましょう。



ドイツ

中古品の転売

使わなくなった家具・家電は、新聞広告や地方紙の専用ページにて引き取り手を探すのが一般的です。

公共交通機関の利用

ドイツでは、バス・電車・路面電車といった公共交通機関を利用する人が多くなっています。車などからの排気ガスの排出を抑えることができます。

スウェーデン

バラ売り・量り売りが定着

卵や野菜、フルーツなどの食品は、必要な分だけを袋にいれ、レジで重さを量るシステム。過剰な包装やムダな買い物を避けることができます。

ペットボトル・ビン・缶のデポジットシステム

ペットボトル・ビン・缶の飲料を買う際には、数十円のデポジット(保証金)を払います。空の容器を国内のスーパーマーケットに持っていき、払い戻しができます。



環境に配慮したプライベートブランド製品

20年ほど前から、大手スーパーマーケットが環境に配慮したプライベートブランド製品を販売。人々に広く親しまれています。



アメリカ

自転車の利用促進

カリフォルニア州のある市では、自転車を利用しやすい町づくりが行われています。多くの市民が通勤・通学などを自転車でっており、自家用車を使っている移動よりも排気ガスを抑えることができます。

フランス・パリ

電気自動車シェアリングシステムが定着

電気自動車のシェアリングシステム「オートリブ」が発達。街に設けられた約900のカーステーションで電気自動車を借り、どのステーションに返却しても構いません。

スイスの一部地域

発電方法を自分で選ぶ

住民は、自分の家で使用する電気の発電方法だけでなく、その割合を選ぶことができます。発電方法は水力・太陽光・化石燃料などから選ぶことが可能です。



地球規模で考える

世界のエコ活動

自然環境に配慮した選択をすることを「当たり前」と感じるのが、エコ活動の第1歩です。



「エコ活動はひとりひとりが意識して行うことはもちろん、地球規模で広く取り組んでいくことが大切です。個人が小さな取り組みを続け、それを後押しする制度を地域や国がしっかりと整備する、その相乗効果が美しい地球を守ることに」つながります。

「エコ活動はひとりひとりが意識して行うことはもちろん、地球規模で広く取り組んでいくことが大切です。個人が小さな取り組みを続け、それを後押しする制度を地域や国がしっかりと整備する、その相乗効果が美しい地球を守ることに」つながります。

諸外国での取り組み

NEXT

「ひとりひとりが「環境を守る」意識を持つ」

日本では「節約につながる」ことが、「エコ活動を行う目的」としてクローズアップされがちです。これに対して海外では、「身の周りの自然環境や地球を守る」ために「エコ活動を行う」という意識を持っている人が多いことをご存知ですか？

例えば、環境先進国ドイツは、徹底的なゴミの分別が進められていることで有名です。各家庭には、分別の方法がひと目でわかるパンフレットが配布されています。多くの国民が子供の頃から、「ゴミの分別や、なるべく「リ」を出さない暮らしを心がけることを「当たり前」のこととして実行しています。私たちも、環境に対してひとりひとりが「責任」を持ち、美しい自然を守ることを「誇り」に感じながら、「エコ活動」に取り組みたいです。

日本のエコへの取り組み

京都議定書

先進国に温室効果ガスの排出削減を義務づける国際協定。日本は、省エネや再生可能エネルギーの導入などを行いました。

エコ・ファースト制度

企業が環境大臣から、環境保全に取り組んでいることを認定される制度。認定された企業はエコ・ファーストマークを使用しているため、注目してみましょう。

クールビズ・ウォームビズ

季節に応じ、服装での温度調節を積極的に行ったり、オフィスや家庭で過度に空調に頼らない取り組みのこと。

欧州諸国では、政府と個人が一体となった「エコ活動」が行われていることが有名ですが、日本政府も様々な取り組みを行っていることをご存知ですか？それぞれの取り組みの詳細を知り、生活の中で意識していきたいものです。

意識できていますか？
日本での取り組み